

全ての労働者の賃上げ・国民の安全安心を求め決議 第56回定期大会開催

東海建設支部は八月二十四日（土）に名古屋市中区の「愛知青年会館」で第五六回定期大会を代議員、来賓、役員、傍聴者あわせて五五名の参加で開催しました。

大会では、執行部から一年間の運動の総括と今後の方針が示され、代議員からも職場での課題や運動方針に対する積極的な意見が出されるなど、活発な議論が行われ、各議案は満場一致で採択されました。

今回の大会スローガンに「全ての労働者・国民との共同で、平和憲法と国民の安全・安心を守り、大幅賃上げ・雇用の確保を実現しよう」を掲げ、大会は開会されました。

議長団には、岐阜分会の大友さんと本局分会の小松さんが選出されました。芝田委員長、あいつつに続いて、中部ブロック国公の杉本議長、管



議長を務めた小松さん(左)と大友さん(右)

理職工二オン中部の海野事務局長、本部の依田書記次長から来賓として連帯のあいさつがありました。

違憲訴訟勝利に向け 新たな署名行動

今回の大会は、旧全建労働時代を含め始めて一日での開催となったため、これまでと比べ時間的な余裕がありませんでした。そのため、執行部からの提案は極力短時間とし、少しでも質疑・討論の時間をさきました。

運動の総括では賃上げについて議論が集中、各職場からは家族まで巻き込んでいる賃下げ法案に対し不満や怒りの声を紹介されました。これまで取り組んできた「公務員賃下げ違憲訴訟



あいさつに立つ芝田委員長

の公平な判決を求める署名」は八月で一旦終え、新たな地裁宛の署名に今後取り組む予定です。職場内だけでなく、世論構築のため建設産業へも積極的な取組をお願いします。

増員が必要 職場は限界

職場の問題として欠員がみつきました。民主党政権時代に行われた、実態無視の新採抑制により、担当者不在の課が増加しています。そのよう中、自民党政権に戻った途端に国土強靱化政策のもと、大規模な補正が組まれ、業務執行もままならない状況となっています。

人事院が公表した資料によると、中部地整（建設）の来年度採用予定は五〇人規模となっています。職場からの運動次第では、年度途

再任用者の要求を 組織化しよう

多くの職場で再任用者の仕事のあり方に対して課題が生じてきています。工事監督や橋梁点検の立会い、管理移管などこれまで培ってきたものを活かす職務は沢山ありますが、当局の使い方は、まず人事異動、新規採用での補充、どうしても埋まらなかったところを再任用者で補充しているの、働かせ方を無視した本末転倒な状況です。

支部では、職場毎に現在の再任用者の方も含めた意見交換会を行い、再任用者の要求を組織化しよう提案しています。

建設労働者との取り組み 生活連に結果しよう

静岡県生公連からは、八月四日に行われた社会保険に関する学習会の報告がされました。学習会では、孫請けや一人親方などは、社会保険に入ることもできないほどの低賃金で働いている声に耳を傾け、国交省として加入の点検をどのように

に進めていくか、問題点が話し合われました。

愛知県生公連からは、地方自治体へ波及している賃下げに対し、自治労働とともに自治体キャラバンを実施したことや、公契約条例制定に向けた運動では愛労働連、建交労とともに活動を進めていることが補強されました。

災害時に活躍してくれるのは、地域の建設業です。

今後も愛知・岐阜・静岡の各県生公連に結果し、また三重・長野では結成に向けた準備を進め、地域の建設産業を守っていく取り組みや公契約の適正化に向けた運動を進めていく必要があります。

青年層への 組織拡大を

二号議案に対する討論では、事務所の担当者が減ったため、相談できる相手がいない問題が生じています。

係長層は忙しくて話しかけづらく、同年代の職員も少ないため、仕事で分からない状況です。これを聞くに聞けない状況です。これを改善するには、増員は勿論ですが、労働組合として青年層の思いを受け止める対話を進めていくことが重要です。

また未加入者との対話も進めていくことで、職場全体の世論を構築していくことが必要と確認されました。

議案・新役員とも 満場一致で採択

各議案は、多くの代議員からのハニシの意見や報告で補強され、すべてが満場一致で採択されました。

また執行部体制については、

芝田委員長、青山書記長の再任をはじめ、新たな体制が決まりました。

私たちにかけられている攻撃は益々大きくなっていきますが、最後までたたかう決意を込め、参加者全員の大きな「回結ガンパロー」で大会は終了しました。



2013年も一丸となってガンパロー

2013年度 東海建設支部 役員名簿

役職	氏名	分会名
執行委員長	芝田 秀幸	庄内川 分会
執行副委員長	高木 晃人	本局 分会
書記長	山田 光希	中枝 分会
書記次長	堀川 勝利	北勢 分会
書記次長	西 誉夫	多治見 分会
書記次長	青山 浩	岐阜国 分会
書記次長	林 昌広	本局 分会
書記次長	大河原 和志	浜松 分会
執行委員	北村 篤泰	名四 分会
執行委員	辻 重美	三重 分会
執行委員	大友 逸斗	岐阜 分会
執行委員	田中 良治	天竜川 分会
執行委員	中田 猛	三重 分会
執行委員	伊藤 圭司	丸山 分会
執行委員	節田 真理子	名四 分会
執行委員	落合 綱三	富士 分会
執行委員	藤澤 彰	北勢 分会

大会宣言

私は国土交通労働組合東海建設支部は、二〇一三年八月二十四日名古屋市中区「愛知青年会館」において第六回定期大会を開催し、役員、労働者等五五名で開会し、一年間の総括と方針を決議した。

昨年の大会以降、政権は民主主義から自公連へと戻り、安倍首相は経済対策を先へ転換し、金融緩和策と円安傾向や株値上昇を引き起こした。大企業、資本家は増収増益を享受している一方、労働者の賃金引下げに地方公務員も巻き込まれるなど、生活は益々深刻化している。また、政府は交付税を取引材料に地方公務員の賃上げを強要している。

一三年度の人事院報告では、支給実績は七・七八％（二九・二八四）も民間より低い実績を認めながら、給与改定動向がなかつた。支給実績は七・七八％（二九・二八四）も民間より低い実績を認めながら、反発など、地方やペナシオン層の賃金抑制と中央・キャリア優遇を推進しようとしている。

建設分野では、「国土強靱化」政策のもと、東日本震災復興計画と二年度補正、一三年予算で公共事業費は七・七兆円増した。我が国にとって防衛対策、インフラの老朽化対策が必須な立場で公共事業費は七・七兆円増した。我が国にとって防衛対策、インフラの老朽化対策が必須な立場で公共事業費は七・七兆円増した。我が国にとって防衛対策、インフラの老朽化対策が必須な立場で公共事業費は七・七兆円増した。